

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書

制作団体名	有限会社 劇団鳥獣戯画
公演団体名	劇団鳥獣戯画

内容
◎講師陣紹介ののち、表現ワークで心と体を解放します。 ◎良寛と遊んでいた子どもたちの生活はどんなだったか？を話し合い、想像します。 事前に調べてもらった良寛のエピソードの紹介や感じたことの発表も。 ◎ホットスポットというエチュードで子ども（自分ではない、江戸時代の子ども）の生活や内面に考えを巡らせます。 ◎良寛と遊ぶシーンを作ってみます。 ◎簡単なわらべ歌や踊りにも挑戦。 ◎後半は、公演のための稽古をします。

タイムスケジュール（標準）
2時限のうち 前半 表現ワーク、昔の子どもたちの生活の想像、良寛のエピソード発表、ホットスポット。 後半 良寛と遊ぶシーン作り、歌と踊りに挑戦、公演のための稽古

派遣者数
6名

学校における事前指導
児童に良寛というお坊さんのエピソードを調べてもらいます。

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

本公演実施計画書

制作団体名	有限会社 劇団鳥獣戯画
公演団体名	劇団鳥獣戯画

演目
ミュージカル「良寛さん」～てんてん手毬はどこ行くの？～

派遣者数
12名

タイムスケジュール（標準）
8:00～12:00 仕込み（内 11:30～12:00 出演児童とのリハーサル）
13:30～14:40 上演 14:40～14:50 感想・質問コーナー
15:00～16:30 撤去 16:40 退出

実施校への協力依頼人員
荷物の搬入、搬出時に4, 5名いて下さると助かります。

演目解説

オープニングで、ワークショップを受けた児童が出てきて良寛さんと遊ぶシーンを演じ、去っていきます。

その後、良寛さんは手毬遊びを。そこへ若き僧、遍澄（へんちょう）が日本一のお坊さんと呼ばれている良寛さんの弟子になりたいと良寛さんの住む草庵へ。

遍澄は、村で子どもたちと遊んでいた粗末な身なりの僧が良寛さんと知り、驚くのです。

新潟県は出雲崎の裕福な商人のうちに生まれた良寛さんが、なぜ出家し、また、なぜ寺を出て、自然の中の粗末な草庵に住み、乞食坊主の暮らしを選んだのか……。

子どもたちと手毬で遊び、たくさんの書や、心に響く和歌、漢詩を残し、晩年には40歳も年齢の離れた尼僧、貞心尼（ていしんに）との恋をした良寛さんの生涯が歌と踊りをまじえ、演じられます。

今に伝えられるエピソードや残された歌を織り交ぜ、貧をものともしない穏やかで激しい良寛さんの生涯を、アクティブで楽しい、感動的な作品にしました。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

ワークショップに参加した児童がオープニングで、子ども役で出演します。

簡単な衣裳も用意。

（当日、公演前にリハーサルをします）

児童生徒とのふれあい

終演後、感想及び質問コーナーを設けます。学校ならび児童からの要望があった場合、全員で「良寛さん」の楽しい踊りに挑戦することができます。